



朝風

平成31年度
学校報No.39
令和2年2月7日
大仙市立
大曲南中学校

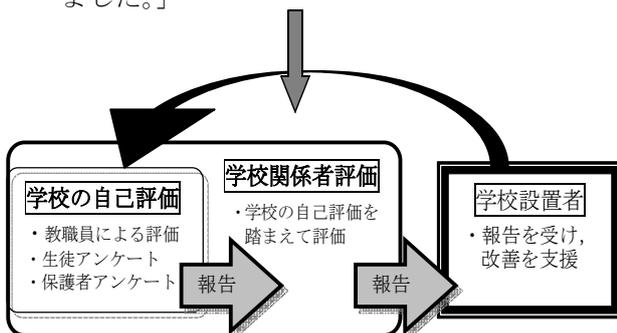


第2回学校評議員会

2月4日、今年2回目となる学校評議員会（兼 学校関係者評価委員会）を開催しました。今年度は、地域にお住まいの若林邦夫さん、高階美智子さん、鈴木直道さん、小松國夫さんの4名の皆さんに学校評議員をお願いしています。

第1回目は、6月18日に今年度の経営方針を説明するとともに、郡市総体の壮行会を見ていただきました。今回は、1年生から3年生までの授業を参観いただいた後に、今年度の学校の取組について説明し、それに対する評価をいただきました。これは、学校の「自己評価」結果についてさらに評価していただくことで、客観性と透明性をもたせることを目的としています。委員の皆様からは、生き生きと学ぶ生徒の姿や本校の営みに対して、高評価をいただきました。学校評価については20日（木）のPTA全体会でご説明いたします。（県学習状況調査結果についてもお話しします）

* [一連の学校評価の↓の部分の評価をお願いしました。]



スマホ時間 県が決定!?

先月、香川県議会のネット・ゲーム依存症対策条例素案についての報道がありました。この素案のポイントは以下のとおりでした。

- ◇ ネットやゲームの過剰な使用は睡眠障害や引きこもりなどを引き起こし、国内外で社会問題となっている。
- ◇ 保護者は子どもを依存症から守る一義的責任がある。
- ◇ 保護者は依存症につながるようなスマートフォンの使用を1日60分、学校休業日は90分を上限とするルールを子どもに順守させる。

あなたはどうか考える？

先日、受験に向けた集団面接の練習の際に、このことについて、3年生の男子4名に意見を求めました。「自分の健康を守るためにも賛成だ。」「時間を守れない人がいる以上、県で決めるのはしかたがない。」と賛成意見が多かった中で、「香川県から出ればやっても良いと考える人もいられるかもしれない。それでは自立した人間にはなれない。まずは、スマホの利用法について、自分たちの問題として家族でしっかりと話し合うこと、そして守る努力を続けることが大切だ。」という発言もありました。時間があれば、まだまだ活発な意見交換ができそうな雰囲気でしたので、聞きたい気持ちでいっぱいでした。自分の立場を明確にして意見を述べる3年生の姿に感心しつつも、スマホやゲーム使用が抱える問題の奥深さを改めて感じました。このことについて、ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。



本校初!スケート教室



5日、雪不足で実施できなくなったスキークラスに替えて、本校初となるスケート教室を実施しました。午前中は県立スケート

場のリンクを貸し切った練習。スケート連盟の方々の指導で、1、2年生とも、みるみる上達し、午後は楽しそうな表情でリンク狭しと滑走することができました。初めての生徒も多く、貴重な体験となりました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。